

みえ福祉第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社三十三総研

②施設・事業所情報

名称：さくら保育園	種別：保育所
代表者氏名：園長 中川 章	定員（利用人数）：320名
所在地：三重県松阪市大足町701-1	
TEL：0598-23-6900	
ホームページ： http://www.sakura-matsusaka.com	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：昭和52年4月2日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人慈徳会	
職員数	常勤職員：44名 非常勤職員：22名
専門職員	保育士：40名、管理栄養士：1名、看護師：1名
施設・設備の概要	保育室16室、遊戯室、調理室、医務室、相談室、職員室、更衣室、倉庫

③理念・基本方針

<保育の理念>

- ・ 児童福祉法の理念に基づき、地域における児童の福祉向上と保護者の就労に寄与し多様なサービスを提供する。
- ・ 子どもの人権や主体性を尊重し、児童の最善の幸福を求めるとともに、保護者・地域社会及び職員の連携を促進し、よりよい環境を構築する。併せて地域の家庭支援を進める。

<保育の方針>

- ・ 養護と教育が一体となった保育を通して一人一人の子どもが心身とも健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、生きる喜びと生きる力を育むことを基本として、その健やかな育ちを支える。
- ・ 子どもと保護者のおかれた状況や意向を受けとめ、保護者とより良い協力関係を築きながら、子どもの育ちや子育てを支える。
- ・ 一人一人のプライバシーを保護するため、保育を通して知り得た個人の情報を守る。
- ・ 職場におけるチームワークや関係する他の専門機関との連携を大切にする。また、日々の保育は、常に子どもの視点に立って自己評価を行い、保育の質の向上を図る。
- ・ 研修や自己研鑽を通して、常に自らの人間性と専門性の向上に努め、専門職としての責務を果たす。

④施設・事業所の特徴的な取組

◇さまざまな教育活動

- ・ 外部より講師を招いて、マーチング教室、サッカー・テニス教室、毛筆・硬筆教室、絵画教室、体操教室等さまざまな教育活動を行っています。マーチング教室では、鼓

笛編成を組み、外部の発表会等で演奏を披露しているほか、毛筆・硬筆教室では、毛筆で正しい書き順や、はね、はらい、とめ等を学んだ後、硬筆で書けるように練習しています。

◇地域交流

- ・ 近隣の自治会で「園だより」を回覧するなどして、園に関する情報発信を行っています。また、老人施設の訪問や、年長児による幼年消防隊の編成・地域の防火活動への参加、他の園と合同で行う松名瀬海岸の美化活動等、地域交流を活発に行っています。

◇食育活動

- ・ 常勤の管理栄養士の指導のもとに行う、園内での野菜栽培や、保育園に隣接する水田での田植え・稲刈り等、子どもの食への関心を高める取組を積極的に行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和元年10月1日（契約日）～ 令和2年3月31日（評価結果確定日）
受審回数(前回の受審時期)	1回（平成20年度）

⑥総評

さくら保育園の運営法人である社会福祉法人慈徳会は、さくら保育園・子育て支援センターさくらキッズのほかに、三重県内で特別養護老人ホームや老人デイサービス事業等を運営するなど、多様な福祉サービスを提供しています。

当園は、昭和52年に松阪市桜町住宅地内にて定員40名で開設しましたが、定員の増加や地域の要望もあり、平成22年に新築移転しました。現保育園は、敷地約15,000㎡、園庭約1,500㎡を有し、近隣は農地等の自然に囲まれています。現在は、定員320名、15クラスの大規模な保育園として、スケールメリットを生かしたさまざまな活動を実施しています。

◇特に評価の高い点

- ・ 利用者家族へのアンケート結果には、子ども達が喜んで登園している様子や、表現活動を豊かにするための配慮等、園の取組に対する保護者の満足度が高いことが表れていました。
- ・ 保育開始前には、「入園のしおり」を保護者に配布し、保育に関わる諸手続きについて十分説明しているほか、外国籍等で日本語が分からない保護者に対しては「ポケット」を導入し使用することで、内容が理解できるよう工夫しています。
- ・ 園独自の組織体制として「安全」「保育の質」「研修」等の委員会を設置し、各分野で毎月、保育の質の向上に向けた会議を行い、保育内容の企画や課題解決に取り組んでいます。
- ・ 職員のキャリアアップに向け、全職員が年1回以上、外部研修に参加しているほか、外部研修のフィードバックや職員の要望を踏まえた園内研修を定期的実施しています。

◇改善を求められる点

- ・ 毎日の連絡帳や送迎時に、子どもの様子を伝えてもらい、感謝している保護者がいた一方で、子どもたちの様子をもっと知りたいという保護者もいました。保護者の意見や要望を把握するため、行事の都度アンケートを行っていますが、今後は、個々の相談等に対しても書面を用いて対応するなど、保護者と相互にコミュニケーションが取

れる環境を整備することが望まれます。

- 職員にて構成される各委員会において事業計画が策定され、職員会議や保護者向けアンケートにて、施策の実施状況の評価、見直しが行われています。職員アンケートでは、「保育内容の決定において自分の意見が反映されているか分からない」との意見が多くありましたので、今後は、より多くの職員の意見をふまえた事業計画の策定を期待します。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審を決め、2年前から10名の委員を選任し、受審に向け現状を検証するなど種々の改善に取り組んできたところですが、本年度、第三者評価を受け、当園の弱みが明らかになりました。今後、職員一丸となり更なる改善を行うとともに、日々変化する保育を取り巻く社会環境に対応できるよう、継続した取組を行っていきたいと思います。

⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。